

【課題研究】ルーブリック評価 環境・社会ゼミ（研究の過程編）

	項目	評価			
		A 高評価	B	C	D 低評価
学ぶ意欲	①興味関心	自分たちの課題研究に関係なく広く自然科学・社会科学分野に興味関心を示している。	自分たちの課題研究に関連したことに興味関心を示している。	自分が好きな分野に関心が集中しがちになるなど興味関心の範囲がせまい。	自然科学・社会科学に興味・関心がもてないでいる。
	②知識の獲得	課題研究の結果解析、考察を行うためにより深く、自然・社会科学分野の学習を行えている。	自分たちの課題研究の先行研究、類似の研究の調査活動を行えている。	課題研究の用語について学習している。	課題研究で学ぶ意欲が見られない。
研究	③適切な問いかけ (仮説の設定)	実験・調査（データ収集・処理）の方向性を意識して適切な問いかけ（仮説）ができている。	実験・調査（データ収集・処理）の方向性を意識した問いかけ（仮説）が不十分である。	テーマ、目的は決まっているが、適切な問いかけ（仮説）ができていない。	テーマ、目的が不明瞭なまま、適切な問いかけ（仮説）もできていない。
	④研究対象データの収集 (実験・調査の方向性)	結論につながるような適切な実験・調査（データ収集・処理）が詳細に行えている。	結論につながるような適切な実験・調査（データ収集・処理）が行えている。	結論につながるような適切な実験・調査（データ収集・処理）をおこなっているが、不十分である。	結論につながるような適切な実験・調査（データ収集・処理）ができていない。
	⑤研究対象データの分析 (実験・調査の方法・組み立て)	実験・調査（データ収集・処理）をしっかり行っており、より質の高いデータを得るために粘り強く試行錯誤している。また、実験・調査（データ収集・処理）に創意工夫を加えている。	実験・調査（データ収集・処理）を行っているけれど、粘り強さが不十分である。また不適切または注意不足で測定・収集・処理が正確に行えていない。	実験・調査（データ収集・処理）計画・準備は終わっている。けれどまだ実験・調査（データ収集・処理）が十分に行えていない。	実験・調査（データ収集・処理）の計画・準備が十分行われていない。
	⑥探究的な研究活動 (PDCAサイクル)	実験・調査（データ収集・処理）をくり返すことで結果の信頼性を高めている。また、新たな課題を導き出し、更なる探究活動に結び付けている。	実験・調査（データ収集・処理）結果が出ているが、信頼性が低い。また、新たな課題を導き出しているが、更なる探究活動には結びつけられていない。	実験・調査（データ収集・処理）を行っているが、結果が出ていない。また、新たな課題を導き出そうとしたが見いだせていない。	実験・調査（データ収集・処理）を行うことができておらず、結果が出ていない。また、新たな課題を見つけ出そうとする姿勢がみられない。
	⑦協働性	グループ内で活発な議論と役割分担が行われており、全員で協力し、効率よく研究が進められている。	グループ内で役割分担し、全員で研究が進められているが、議論が少なく、効率的でない。	グループ内で役割分担したが、全員で研究が進められていない。	グループ内で研究に対する役割分担ができていない。
ノート／記録	⑧必要事項の記録	実験の再現または調査・分析の反証を受けられるよう必要な事柄がわかりやすくまとめられており、さらに実験結果から図・表・グラフを作成している	第三者が見てわかるほど実験・調査（データ収集・処理）の方法・条件・結果がしっかり記入されているが、図・グラフ・表がない。	実験・調査（データ収集・処理）の方法・条件・結果が記入されているが、第三者が見てわかるほど整理されていない。	実験・調査（データ収集・処理）の方法・条件（・場所・操作・手順・装置・従事者・引用）・結果が記入されていない。
	⑨気づきコメントの記入	実験操作・調査（データ収集・処理）に対し、ノート・作業シートに気づき、振り返り、コメント等が記入され、考察もしっかりできている。	実験操作・調査（データ収集・処理）に対し、ノート・作業シートに気づき、振り返り、コメント等が記入されているが、考察が不十分である。	実験操作・調査（データ収集・処理）に対し、ノート・作業シートに気づき、振り返り、コメント等が記入があまりない。	実験操作・調査（データ収集・処理）に対し、ノート・作業シートに気づき、振り返り、コメント等の記入がない。